

健康応援隊！

—子どもの健康被害を守る—

子どものライター火遊びに注意しましょう！

今年の春頃に、子どものライター遊びが原因と思われる火災が発生し、幼い命が奪われる痛ましい報道が頻発したことは、まだ記憶に新しいことだと思います。

消費者庁による調査では、子どもの火遊びによる火災のうち、発火源がライターであるものが半数以上のほり、5歳未満において死傷者の発生率が高いということが確認されました。また、発火源のライターの種類では、使い捨て式のライターの使用によるものが約90%となっています。

ライターの火遊びによる火災を防ぐには、周囲の大人の注意が欠かせません。お子さんがいる家庭では、次のことに気をつけましょう。

- ①ライターは子どもの手が届かないところにおきましょう。
- ②子どもに火の怖さを教えましょう。
- ③不要なライターはきちんと捨てましょう。

家庭や学校で子どもに火の怖さを教えることも大切です。

子どもがライターで火遊びをしているのを見つけたら、すぐに注意してやめさせましょう。

理解できる年齢になったら、家庭や学校で子どもに火の怖さを教えることも大切です。

現在約6億個のライターが流通しています。利用しなくなったらライターが家の中にありませんか。ライターはガス抜きをし、「不燃ごみ」として、正しく廃棄しましょう。

7月に入ると夏休みが始まり、お子さんが自宅で過ごす時間が長くなります。居室や車にライターが放置されていないか点検し、ライターの置き場所などを家族で確認してみしましょう。

(健康福祉課 保健師)

学校コーナー

避難訓練 (不審者対策) 実施

～合い言葉は「いかの・お・す・し」～

五霞東小学校

5月19日に、避難訓練(不審者対策)が行われました。

事前に各学級で、不審者に遭遇したら：「すぐに教師に知らせる。」「自分の身を守る。」等について学習しました。その後、「職員室のテレビに、不審者が映されました。」と想定して、全児童が教師の指示に従い、「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」の避難時の約束を守って、安全に体育館に避難することができました。

※合い言葉

「いかの・お・す・し」

『いか いかない』

知らない人にはついていかない。危ないところにはいかない。

『おの 知らない』
知らない人の誘いにのらない。知らない人の車にのらない。

『お』おおきな声でさげぶ
できるだけおおきな声でさげぶ。
『す』すく逃げる
安全な場所へ走って逃げる。
『し』しらせる
近くの大人や警察、こどもを守る110番の家、家の人、学校に知らせる。

その後、教室に戻り、避難訓練の反省を行い、不審者に対する理解を深め、さらに意識の高揚を各学年に応じて図りました。

ご家庭でも、危険な場所や知らない人から声をかけられた時、どのように行動すればよいかを話題にしていた。普段から、学校・家庭・地域で安心して暮らせるようにしていきたいものです。



ご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先
●町長(直通)
FAX (84) 1550
●企画財政課広報担当
☎(84) 1111(内線221)

7月の納税		納期限8月2日(月)です	
固定資産税	2期	町民税務課	税務G 内線252
国民健康保険税	1期	町民税務課	税務G 内線254
後期高齢者医療保険料	1期	町民税務課	税務G 内線253
介護保険料	1期	健康福祉課	社会福祉G 内線239
保育料	7月分	健康福祉課	社会福祉G 内線237
学校給食費	4期	教育委員会	学校教育G 841462

人口と世帯 (6月1日現在)	
総人口	9,546人(- 2)
男	4,782人(- 4)
女	4,764人(+ 2)
世帯数	3,032世帯(+ 4)
※()内は前月比	